

実況中継「土曜講座」

第14号 2025年1月31日発行

市川学園1月25日の土曜講座 於 多目的ホール

石井 雅章 先生

持続可能な開発目標（SDGs）の本質を理解する

神田外語大学 グローバル・リベラルアーツ学部 教授



石井雅章先生のご紹介

- 1995年 千葉大学文学部 卒業
- 1997年 千葉大学大学院文学研究科修士課程 修了
- 2003年 千葉大学社会文化科学研究科博士課程 修了
- 2012年 鶴ヶ島市まちづくり審議会委員
- 2018年 環境省「持続可能な開発目標（SDGs）を活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業」アドバイザー委員
- 2021年 神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授（現職）
- 2021年 神田外語大学教育イノベーション研究センター センター長（現職）
- 2021年 市川学園・神田外語大共催「グローバルイシュー探究講座」担当

主な講義内容の紹介

2025年1月の土曜講座は神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授の石井先生による、持続可能な開発目標（SDGs）についての講演でした。「SDGsを知っていますか？」と問われれば、「17のゴール」として有名なあのアイコンを思い出し、「知っている」と答える人もいるかもしれません。しかし、それはSDGsの本質ではありません。そもそもSDGsとは、国連総会にて全会一致で採択された文書『2030アジェンダ』に掲載された2030年までに国際社会が実現すべき目標群のこと。SDGsの本質は「持続可能な世界」というビジョンを実現することにあります。そのために「17のゴール」が設定され、さらに「169のターゲット」、「231の指標」が設定されています。ちなみに、『2030アジェンダ』のタイトルは“Transforming Our World”（私たちの世界を変革する）。

「持続可能な世界」実現のために、すでにある関係性やシステムを（改善ではなく）変革することを目標に掲げているのです。SDGsの本質を理解するために、まずは「前文」を読んでほしいと思います。では、そんなSDGsを自分ごととして捉え、実践するためにはどうしたらよいのか。そのためには、まずSDGsの存在を認識し、理解することが必要だと石井先生は言います。そのうえで、自分が貢献できるものを当てはめ、既存のシステムの変革を目指すことこそが重要なのです。



受講レポートから

- 私はSDGsのことをよく知っていると思っていたのですが、17のゴールの他に169のターゲット、さらに231のインディケータがあるということはまったく知らず、驚きました。改善するのではなく、変革し、同時に解決することが大事だとわかりました。また、私たちができることは、貢献できることを当てはめることまでが限界だと思っていましたが、ステイクホルダーが解決の鍵になるのだとわかりました。また、平等より公正が大事だと考えていましたが、環境を変えるという発想はありませんでした。（中1女子）
- もう2030年まであと5年しかないと改めて考えてとても短く感じました。あと5年経つと私は18歳だけれど世界はどのように変わっているか気になります。（中1女子）



- 自分の所属している物理部でもSDGsにつながるモノづくりをやりたいと思っていたので、その時はターゲットを調べてより深く考えたいと思いました。より理解を深めるため、親や友人に説明してみたいと思います。（中2男子）
- 今まではSDGsのそれぞれについて個別に考えていましたが、三側面の話聞いてSDGsへの見方が変わりました。また、私は今までSDGsは達成することが困難なので意味がないと思っていました。

- 人間が持続可能な開発という考え方に至ったことが重要だと聞いて納得しました。（中3男子）
- 今回のお話で17のゴールの中でも3つに分類されていることを知って、同じ目標を持ちながらも違うカテゴリ（東）であることを理解できてスッキリできました。2030アジェンダのお話の際に16,17の「平和」「パートナーシップ」が私たちの目指す世界に必要な土台となることにも気付くことができて17のゴールのそれぞれの役割を知りました。（中3女子）
- SDGsの概念は普及しているものの、本質を理解しておこなわれている活動は思ったより少ないのかもしれないと感じた。「持続可能な〇〇」は本当にSDGsの本質を理解できているのか？と聞いてハッとした。本業を変革せずに行っているその活動は見せかけのものかも、という判断基準になるほどと思った。（高1女子）
- SDGsにおいて、日本はインフラという1つのゴールしか満たしていないのは意外だったけれど、世界の国々と比較して、女性の地位が低かったり、食べ物の廃棄に関しては世界トップレベルで多いというのは事実なので、あと5年でどれだけ変革できるのか、5年でなくても変革していくべき問題だと思った。（高2女子）



- SDGsの表面だけしかなく、なかなか進まない企業が多く存在する中で目指すべきビジョンを達成するためには世の中全体でSDGsを見直し、本質を理解することが必須だと思いました。その一員として学びを深めたいです。（高2女子）



（文責：早川 隆文 先生）